

旬の特産品が集結

10月1日、山と海の実りや冬物の衣類、暖房類が販売される『産業まつり』が役場前駐車場で開催され、多くの来場者で賑わいました。産業まつりは、文字どおり上ノ国町の様々な『産業』が集う市場で、この日の会場では、季節の野菜やりんご、ぶどうといった果実、秋鮭などの魚介類が店頭に並び、その中でも若手農業者グループの新米販売には長蛇の列ができていました。



江差線が1日だけ復活!? テレビ企画でいいね列車走る

10月14日、北海道テレビの番組『夜のお楽しみ 寝落ちちゃん』の企画として、旧J.R.江差線のレール跡地におもちゃの列車が走りました。これは、10月14日の鉄道の日に番組収録を兼ねて行われ、番組の出演者と共に、SNSのツイッタールと連動するよう改造されたおもちゃの列車が、河北小学校前をスタートし、ゴールの旧上ノ国駅前に向かって走り始めると、応援に駆けつけた小学生や地域の方々がその姿を見送っていました。列車は、走行中に日没を迎えたことで残念ながらゴールはできなかったものの、各踏切には長年江差線を見守り続けてきた地域の方々が集まり、時に昔話をしながら涙ぐむ人もいたなど、列車を応援しながら、今はなき江差線を偲ぶことができた様子でした。



苗から始まる森づくり

10月14日、将来の上ノ国に資源豊かな海と森を残すため、上ノ国町日本海グリーンベルト構想推進協議会（花田英一会長）主催のもと、「豊かな海づくりのための植樹祭」が大安地区にて開催されました。町内ではこれまで、湯ノ岱地区や上ノ国中学校横の敷地など、多くの地域で植樹が行われており、今年は昨年と同じく大安地区の高山に、トチノキやミズナラなど、地域の植生そのままの苗木約1000本を植樹しました。この植樹には、中学生から地元漁業者など多くの世代が参加し、将来の上ノ国町に新たな森を創り残そうと、植樹に励んでいます。



長く健康に楽しく生きる

10月19日、適切な介護予防知識を楽しく学び、健康寿命を延ばすことを目的とした『介護予防まつり』が健康づくりセンターで開催され、111名が参加しました。会場では、笑いや運動の重要性を体験できる体操コーナーや食生活改善協議会による食事改善コーナー、口や顔の筋肉をゲーム形式で鍛えるコーナーなど、楽しい趣向が凝らされた催しが多数用意され、参加者は自身が興味のあるコーナーに足を運び、遊びを介して介護予防知識を学んでいました。また、今年は町内駐在所勤務の警察官による、振り込め詐欺被害防止を目的とした寸劇が行われ、犯人や被害者、それを止める警察官や家族のやりとりが迫真の演技でコミカルに演じられ、詐欺被害防止のための心構えが啓発されるとともに、拍手喝采の大きな反響を得ていました。

